

令和5年度決算について

令和5年度における予算編成に当たっては、厳しい財政環境にあって予算の圧縮に努めることを基本とし、各種経費の見直しを図るなど財政健全化に努めながら、地域住民の安心・安全な生活と災害に強いまちづくりの実現に向け、下記の重点施策を考慮し、事業の必要性、効率性、緊急性等を総合的に勘案しながら、限られた財源を効果的・効率的に配分するよう予算編成したところです。

【重点施策】

- ・ 消防体制の充実強化
- ・ 救急業務高度化への対応及び救急需要への対策
- ・ 火災予防体制の積極的推進
- ・ 消防団の充実及び地域防災力の強化等への取組

1 予算及び補正の状況

当初予算総額の規模は、3,198,500千円でしたが、総額47,577千円の減額補正を行った結果、最終歳入歳出予算総額は、3,150,923千円となり当初予算比1.5%減となりました。

補正予算については、消防施設整備事業として寄附金を財源とした資機材搬送車の整備やコミュニティ助成金及び消防団員安全装備品整備事業助成金を財源とした消防団員用装備品購入経費の増額、人件費や施設整備事業の金額確定に伴う減額が主なものです。

2 決算及び収支

一般会計歳入歳出決算総額は次のとおりです。

歳入	3,153,116,654円
歳出	3,071,718,402円
歳入歳出差引	81,398,252円

これを前年度と比較すると、歳入では2.7%の増、歳出では2.6%の増となりました。

3 主な事業

令和5年度の主な事業といたしましては、高規格救急自動車や消防ポンプ自動車の整備、消火栓の新設及び日吉公共施設複合化整備事業並びに消防署南出張所女性専用施設整備工事など消防施設の充実強化を図ったところであります。

また、救急業務高度化及び救急需要への対策として感染対策資器材の整備や救急車用ベッドサイドモニター及びAEDを整備し、さらに、消防団の充実及び地域防災力の強化等への取組として北海道消防操法訓練大会に端野消防団を派遣し、地域防災力の強化を図ったものであります。

今後も、複雑多様化する災害と住民ニーズを的確に把握し、感染防止対策の維持と、消防体制の維持に万全を期し、地域住民の安心・安全な生活と災害に強いまちづくりの実現に向け、消防行政を進めて参ります。

令和5年度北見地区消防組合決算

(単位:千円)

	最終予算	収入済額	予算比%	支出済額	執行率%
一般会計	3,150,923	3,153,117	100.07%	3,071,719	97.49%

令和5年度一般会計歳入予算構成比

(単位:千円、%)

区分	予算現額	収入済額	予算比	構成比
分担金及び負担金	2,992,458	2,992,458	100.0	94.9
使用料及び手数料	1,000	864	86.4	0.0
寄附金	25,010	25,000	100.0	0.8
繰越金	74,583	74,583	100.0	2.4
諸収入	25,272	30,912	122.3	1.0
消防組合債	32,600	29,300	89.9	0.9
計	3,150,923	3,153,117	100.1	100.0

令和5年度一般会計歳出予算構成比

(単位:千円、%)

区分	予算現額	支出済額	執行率	構成比
議会費	3,110	2,426	78.0	0.2
総務費	294,714	285,484	96.9	9.3
消防費	2,435,709	2,371,831	97.4	77.1
公債費	411,166	411,162	100.0	13.3
予備費	5,411	0	0.0	0.0
諸支出金	813	816	100.0	0.1
計	3,150,923	3,071,719	97.5	100.0